秋保工芸の里 散策路マップ

四阿（あずまや）

みどころ

平成19年度に「こけしの森」の東端に作られた四阿（あずまや）からは、仙台の奥座敷秋保温泉旅館街が一望できます。また、南側の尾根から眺める秋保工芸の里の工房群もなかなか趣があります。

5月10日前後の新緑は、汗ばむ頬にさわやかな風を運んできてくれます。6月中旬には、ニッコウキスゲの群落があざやかなオレンジのキャンパスを演出します。また、6月下旬から7月中旬にかけて、ヤマボウシが清楚な白花を装い、秋には、3cmほどの紅褐色の実がなり、紅葉黄葉とあいまってとてもきれいです。

「こけしの森」とは…

こけし等の原木とするために、ミズキやイタヤカエデ、ヤマザクラ等を植林した、秋保工芸の里に隣接する市有林です。

市民ボランティアと秋保工芸の里の工人が協働で植林を行うことにより、森林・林業に対する理解と、木工芸品の伝統技術の継承と振興を支援するものです。

四阿（あずまや）からの眺望

より楽しく散策するために…

帽子を被り、軽登山靴や防水性のあるウォーキングシューズがおすすめです。

※植物はどれも貴重なものばかりです。採集等はお控え下さい。

外周 約1.1 km